

万灯が照らす、天平の里

天平ロマンの夕べ

奈良時代の天平13年(741)、聖武天皇は国家の平和と繁栄を祈るため、全国60余国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。

三河国の国分尼寺跡は豊川市八幡町に所在し、三河国分寺跡とともに大正11年(1922)に国の史跡に指定され、発掘調査成果に基づき中門など一部の建物を復元し、平成17年に史跡公園としてオープンしました。発掘調査では、灯火具(灯明皿)が出土しており、それらは日常的な照明としてだけでなく、多くの明かりを灯しながら仏を供養し、滅罪を祈願する「万灯会」の行事でも使われていたと考えられます。

「天平ロマンの夕べ」では一人ひとりの思いを込めた手作り万灯に明かりをともし、「万灯会」をよみがえらせます。天平文化が華開いていた古の時代に想いをはせ、そして未来を見つめてみませんか。

催し物

昼
の部

13:00~17:00

●天平市

キッチンカーが出店予定!
ポップコーン・綿菓子の無料配布もあります。
※なくなり次第終了

●天平衣装着付け体験(予約制)

13:00~、14:00~、15:00~、16:00~

※各回6名まで

9月6日(水) 午前9時より電話受付開始!(先着順)

受付:三河天平の里資料館(火曜休館)

☎0533-88-5881

参加費:無料

対象:どなたでも

※衣装の種類・サイズに限りがあります。



点灯式



夜
の部

18:00~20:00

◆点灯式 18:00~18:15

さんげ
散華とともに、尼僧・官人に扮し、万灯の点灯を行います。

散華とは…寺院で諸仏を供養するために花を撒くこと

●浦安の舞 18:15~18:30

八幡宮に伝わる浦安の舞(「扇の舞」
「鈴の舞」)を中学生が優雅に舞います。

●雅楽演奏 18:30~19:00

地元の八幡町内会の方々が雅楽を
演奏します。

浦安の舞



【臨時駐車場拡大図】

